

定期報告（ウルグアイ内政・外交・経済：2025年6月）

【ポイント】

<内政>

- 18日、追加予算を含む昨年度予算の決算が議会で可決した。
- 26日、ネグロ内務大臣は議会特別委員会で治安や刑務所問題等について説明した。

<外交>

- 17日、フラッティ農牧水産大臣は大阪・関西万博に参加した。
- 19日、ルベッキン外務大臣は貧困・開発・紛争に関する国連安保理公開討論で演説した。

<経済>

- 18日、観光省は、2025年第1四半期にウルグアイを訪れた外国人観光客は130万人を超えたと発表した。
- 26日、ウルグアイとして初めてスイスフラン建て国債を発行した。
- 6月までの主な経済指標及び貿易統計。

【本文】

1 内政

（1）昨年度予算の可決

18日、追加予算を含む昨年度予算の決算が議会で可決した。なお、野党第一党の国民党等は追加予算に反対していたが、与党は最終的に野党少数政党の開かれた市民集会（CA）党の賛成票を得て下院での可決に漕ぎ着け、上院は与党過半数で可決した。CA所属議員は、オドネ経済財務大臣の責任ある財政運営を信頼しており支持したと説明した。これにより、保健省及び国家保健サービス機構（ASSE）関連の追加予算、また、タクアレombo県とモンテビデオ県を結ぶ貨物運搬鉄道に関する追加予算が承認された他、2025年の財政債務の上限が、2024年の29.9億米ドル（GDP比約3.7%）から34.5億米ドル（GDP比約4%）に引き上げられた。今後、政府は予算編成を本格化させ8月末に予算法案可決を目指す運び。政府は、児童貧困対策、保健及び教育分野を中心とする社会保障対策、公務員の給与引上げに関する予算を優先すると推測される。

（2）刑務所問題及び治安悪化に関する内務大臣の発言

26日、ネグロ内務大臣は、16日に発生した囚人同士の抗争による刑務所内火災で4名が死亡した事件を背景に、議会特別委員会で再発防止策とともに治安及び刑事施設（刑務所、拘留所等含む）の問題について説明した。刑務所が犯罪グループ同士が接触し結集する場に転じており、新次元の犯罪組織が発生しつつあると警鐘を鳴らした。収容者人口の増加による刑務所の過密化が深刻で、適切な管理及び更生保護が行える状況にないと述べた。また、刑務所が犯罪抑止も再犯防止の機能も果たしておらず、あらゆる種類の犯罪が制御不能に増加してお

り、刑務所問題への取組は治安問題解決の直接的手段であると強調した。

2 外交

(1) フラッティ農牧水産大臣の大阪・関西万博への参加

17日、フラッティ農牧水産大臣は政府関係者及び35社以上の民間企業・団体を伴い、大阪・関西万博を訪れ「ウルグアイ・ナショナルデー」の式典に出席した。同大臣は「ウルグアイは信頼できる貿易パートナーであり、再生可能エネルギー等の持続可能分野で秀でており、オープンな外国投資受け入れ体制がある」とアピールした。訪日中、フラッティ農牧水産大臣は笹川農林水産副大臣と会談した他、日本貿易振興機構（JETRO）との共催によるウルグアイ・ビジネスセミナーに出席した。

(2) ルベッキン外務大臣の国連安保理公開討論への参加

19日、ルベッキン外相はNY国連本部で開かれた「貧困、開発及び紛争」に関する国連安保理公開討論に出席し、ウルグアイは貧困問題等の分野における国連経済社会理事会（ECOSOC）の役割を重視し、多国間主義を支持すると強調した。また、同外務大臣は、複数の国連PKO関係者と会談し、コンゴ（民）に派遣中のウルグアイ兵士の帰国の早期実現（当館注：コンゴ（民）情勢悪化により、当初、1月に任期満了した兵士の帰国が延期されていた。）について協議した。協議後の記者会見で、ルベッキン外相は約200名のウルグアイPKO要員が7月に帰国することが決定されたと発表した。なお、ウルグアイはコンゴ（民）に約700名のPKO要員を派遣し、世界全体で約千人を派遣するPKO貢献国。

3 経済

(1) 2025年第1四半期の外国人観光客数

18日、観光省は、2025年第1四半期（当館注：ウルグアイの観光の繁忙期は12月～2月頃）、ウルグアイを訪れた外国人観光客は約137万人で、旅行消費額は約9億ドルを記録し、観光客数及び消費額ともに前年同期比で増加したと発表した。一番多かった外国人観光客はアルゼンチン人で、97万人（約70%）、消費額は約6億ドルに上った。続いてブラジル人が約11万人（約8%）で、約1億ドルの消費があった。また、ヨーロッパからの観光客の増加が目立ち、ここ10年間で最多となる6万人強がウルグアイを訪れた。次いで、アメリカ人が4万人弱、チリ人、パラグアイ人の順であった。なお、同期間に海外旅行に出たウルグアイ人は約65万人で、旅行消費額は約3.5億ドルであったため、観光収支は大幅な黒字となった。

(2) スイスフラン建て国債の発行

26日、経済財務省は、スイスフラン建て国債を発行し総額4億ドル相当を調達したと発表した。ウルグアイが同通貨で国債を発行するのは初めてで、現在、この他の外貨建て国債は米ドル及び日本円がある。経済財務省は、「スイス金融

市場は保守的で、高品質の金融資産を中心に扱うことから取扱い基準が高く、主にA格付け以上の発行体と同市場で資金調達を行っている。従って、スイス金融市場におけるウルグアイ債券の発行は、「ウルグアイの制度的健全性に対する投資家の信頼を反映しており、新政権の政策枠組みへの支持を意味する」と説明した。スイスフラン建て国債は、5年もの及び10年ものの2種類で、それぞれ年利1.04%及び1.62%の固定金利で発行された。

(3) 主な経済指標及び貿易統計

主な経済指標

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
消費者物価指数(%)	5.05	5.10	5.67	5.36	5.05	4.59
失業率(%)	8.1	7.9	8.0	8.0	7.8	-
平均賃金指数(%)	5.77	5.81	5.83	5.95	6.08	-
対ドル為替(ペソ)(平均)	43.68	43.117	42.271	42.304	41.682	40.854
新車売上台数(台)	4,340	5,761	5,989	5,312	5,452	5,146

出所：国家統計院(INE)、ウルグアイ自動車販売協会(ACAU)

※6月の失業率及び平均賃金指数は未発表。

消費者物価指数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全体	5.05	5.10	5.67	5.36	5.05	4.59
食品・ノンアルコール飲料	4.27	3.86	6.32	5.57	4.74	4.18
アルコール飲料・タバコ	3.45	3.96	4.63	4.45	4.28	3.83
衣服・靴	-2.66	-1.88	-1.35	-0.99	-1.16	-0.99
住宅	1.92	4.43	4.11	4.18	4.27	4.22
家具・家庭用品	4.83	3.89	3.98	4.03	4.05	3.49
保健	6.4	6.9	6.39	6.47	6.6	6.43
運輸	7.73	7.07	6.46	5.43	4.37	2.91
通信	6.24	6	5.57	5.52	5.48	5.39
娯楽・文化	5.18	3.91	5	5.23	5.49	4.59
教育	7.54	7.79	8.44	7.92	8.11	7.67
レストラン・ホテル	7.67	7.51	6.98	6.56	6.68	6.97
保険・金融サービス	7.96	7.8	7.62	8.11	7.72	7.04
化粧品・医薬部外品等	4.41	4.03	4.31	4.12	4.53	4.11

出所：国家統計院(INE)

貿易統計

		1月	2月	3月	4月	5月	6月
輸出 (*)	額 (百万ドル)	666	671	640	733	821	832
	前年同月比 (%)	8	8	10	10	2	11
	1月からの累計 (百万ドル)	666	1,329	1,965	2,690	3,505	4,340
	前年同期比 (%)	8	9	10	10	8	8
輸出 (**)	額 (百万ドル)	912	937	1,060	1,033	1,169	1,325
	前年同月比 (%)	6	-5	14	4	1	4
	1月からの累計 (百万ドル)	912	1,841	2,896	3,920	5,119	6,451
	前年同期比 (%)	6	1	5	4	4	4

		1月	2月	3月	4月	5月	6月
輸入 (***)	額 (百万ドル)	977	1,096	1,022	1,055	1,072	1,011
	前年同月比 (%)	24.9	35.9	31	16	23	31
	1月からの累計 (百万ドル)	977	2,073	2,844	3,897	4,717	5,691
	前年同期比 (%)	24.9	30.5	20.1	18.8	13.5	15.5

出所：ウルグアイ21（貿易投資促進庁）

(*) ウルグアイのフリーゾーンを含まず。毎月の輸出額、輸出累計額は暫定値。

(**) ウルグアイのフリーゾーンを含む。

(***) 石油及び派製品を含まない。

製造業指数 (%)

	11月	12月	1月	2月	3月	4月
全体	1.5	1.8	7.1	5.9	5.3	8.7
食品	2.6	2.2	3.8	1.0	3.5	4.2
飲料	-6.8	-5.7	21.5	10.2	-1.2	7.4
繊維製品	-1.3	-0.6	25.3	21.4	6.0	4.9
衣服	4.0	5.0	37.9	10.4	7.2	0.0
皮等	19.3	18.1	-17.4	-11.5	17.4	-9.5
木材及び関連品	1.1	0.2	-19.2	-14.9	-3.3	-12.9
紙等	16.4	14.5	2.0	2.0	6.4	8.0
製本	4.1	3.9	12.9	6.5	7.0	5.0
石油派製品等	-26.2	-13.6	5,455.8	5,847.5	104.9	2,678.6
化学品	1.3	3.9	-6.6	-5.1	4.3	-1.6
医薬品	12.8	13.2	-23.5	-15.3	11.7	-9.3
皮・プラスチック製品	-4.2	-4.4	-15.5	-11.7	-5.0	-7.1
金属鉱物	-6.6	-6.0	32.6	15.5	2.9	13.1
礎金属	-12.2	-10.5	-9.0	32.7	-0.8	21.7
金属製品（機械を除く）	-5.3	-6.6	-11.8	5.3	-7.1	-7.8
電子・情報・光学製品	21.2	24.6	-19.9	1.6	40.7	21.5
電子機器	-7.9	-10.0	-15.1	-10.6	-8.1	-5.6

機械・設備	-23.9	-20.6	35.3	5.9	-8.3	27.4
自動車等	-10.2	-13.4	-36.8	-15.2	-15.3	-3.6
家具等	9.1	8.1	-5.6	-4.8	6.1	-4.0
その他製造業	3.4	2.6	15.6	10.7	5.0	2.7
機械設備修理	-12.2	-11.9	-21.1	-17.9	-9.9	-11.2

出所：国家統計院（INE）

4 要人往来

- ・ 6日：マイア教育文化大臣のアルゼンチン訪問（メルコスール文化大臣会合）
- ・ 7日：オルトゥニョ環境大臣のフランス訪問（国連海洋関連会合）
- ・ 8日～11日：カルドナ工業エネルギー鉱業大臣のコロンビア訪問（CLACSO2025）
- ・ 12日：ルステンベルグ保健大臣のアルゼンチン訪問（メルコスール保健大臣会合）
- ・ 14日～20日：フラッティ農牧水産大臣の訪日（大阪・関西万博）
- ・ 17日：メノニ観光大臣のコロンビア訪問
- ・ 18日～20日：ルベッキン外相の訪米（国連安保理公開討論）
- ・ 24日～：ルベッキン外相のイタリア訪問（FAO関連会合）、スペイン訪問（国連開発関連会合）
- ・ 28日～：オルシ大統領のスペイン訪問（国連開発関連会合）